

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

[平成27年7~9月期の景況/10~12月期の見通し]

宇部市内における中小企業の業況は、業種によってばらつきがみられるものの、全体的には来期以降わずかながら悪化する見通し

今回調査のポイント(初回調査のため今回は今期と来期予想との比較になります。)

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2015年7~9月期の実績と2015年10~12月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る今期から来期への業況の見通しは▲2.5%の微減となっている。業種別では建設業が▲7.1%から▲25.0%と大幅に悪化、製造業は▲38.1%から▲35.0%と若干回復、卸売業は▲20.0%から▲10.0%へ大幅に回復、小売業は▲21.7%から▲26.1%と若干悪化、サービス業は22.2%から21.4%とほぼ横ばいという結果となった。

新規設備投資については、今期から来期については微減となっている。

経営上の問題点については、何れの業種においても『従業員の確保難』を挙げており、今後も『人』に関する厳しい状況が続くと予想される。

DI(デフュージョン・インデックス)とは?

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

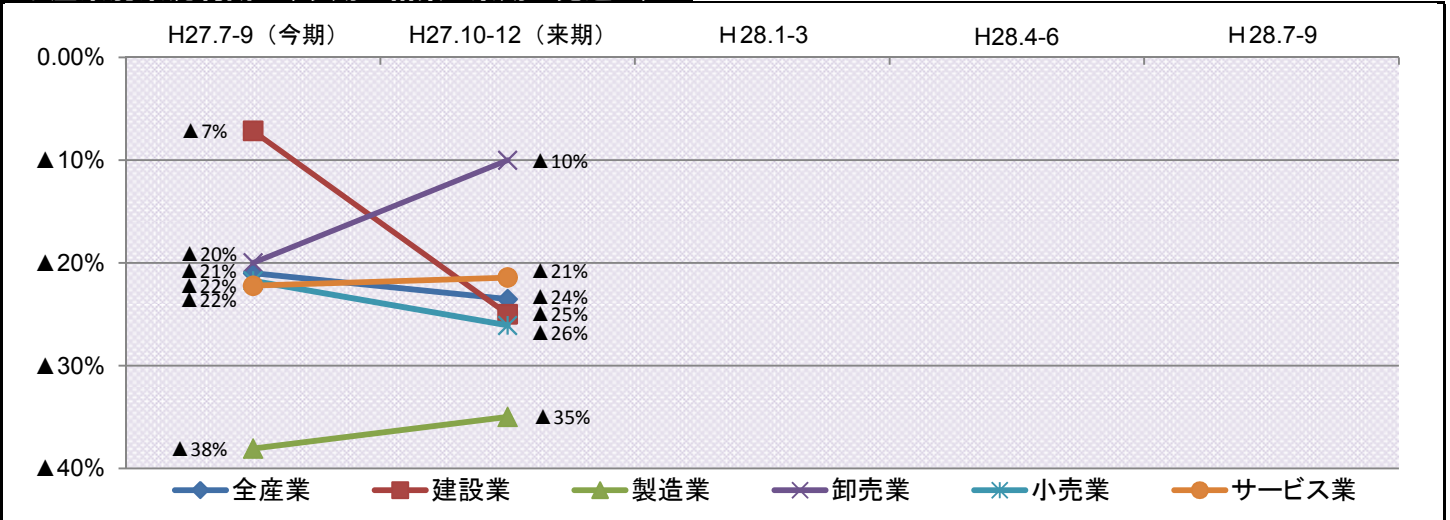
DATE

- 調査期間: 2015年8月27日~9月4日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業146社
- 有効回答企業数: 122社(83.56%)

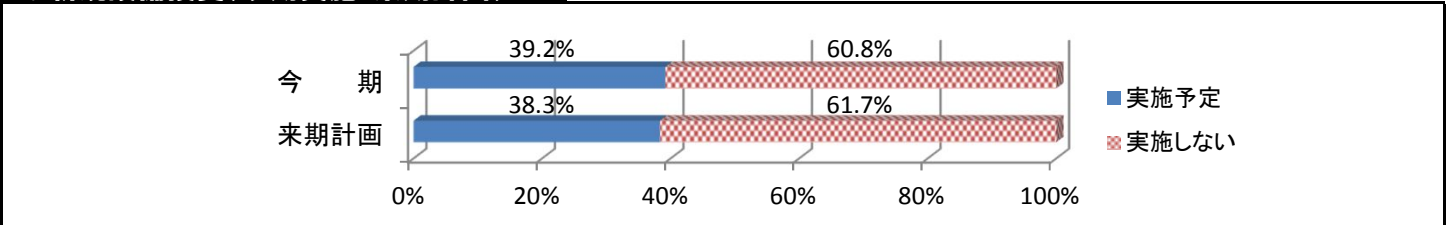
1. 業況DI値(今期の状況) ※初回調査となるため前回との比較はありません。

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲21.0%	-	▲12.5%	-	▲13.3%	-	▲22.3%	-	▲1.7%	-
建設業	▲7.1%	-	6.67%	-	3.33%	-	▲10.0%	-	6.67%	-
製造業	▲38.1%	-	▲23.8%	-	▲28.6%	-	▲61.9%	-	19.05%	-
卸売業	▲20.0%	-	▲15.8%	-	▲10.0%	-	0.00%	-	▲15.0%	-
小売業	▲21.7%	-	▲13.0%	-	▲18.2%	-	▲17.4%	-	▲13.6%	-
サービス業	▲22.2%	-	▲22.2%	-	▲18.5%	-	▲25.9%	-	▲7.4%	-

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 16.9%	製品(加工)単価の低下・上昇難 20.7%	販売単価の低下・上昇難 24.0%	消費者ニーズの変化への対応 14.5%	従業員の確保難 19.2%
2位	熟練技術者の確保難 13.3%	需要の停滞 17.2%	仕入単価の上昇 16.0%	仕入単価の上昇 14.5%	利用者ニーズの変化への対応 13.7%
3位	下請業者の確保難 12.0%	原材料価格の上昇 15.5%	従業員の確保難 12.0%	販売単価の低下・上昇難 11.3%	人件費の増加 11.0%
4位	民間需要の停滞 12.0%	人件費の増加 8.6%	需要の停滞 12.0%	従業員の確保難 11.3%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化 9.6%